

弘教寺

つづじだより



大遠忌法要に参拝して

弘教寺住職 中山英昭

10月10日待ちに待った大遠忌法要の参拝日がやってきました。役員の方々にお手伝いいただき、前日までにバスへの荷物の積み込み、資料作りも完了。バス2台で、本庄・早稲田駅へ。期待に胸をふくらませ、新幹線に乗り込みました。

新幹線で京都まで行ったことで、本山到着が早く、午後の法要参拝まで、時間の余裕が生まれました。弘教寺参拝団は、総勢68人です。阿弥陀堂前の白州で記念撮影の後、聞法会館前の仮設と呼ぶには立派過ぎる食事会場で昼食を頂き、御影堂入堂開始前の一時間以上ある自由時間を、皆さん思い思いに過ごしました。国宝「唐門」で記念撮影される方、



お荘厳「九具足」お飾り



第20号

発行所

〒370-0131
伊勢崎市境米岡二七九-二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話0二七〇(七四)〇五七三



大遠忌法要風景

同じく国宝の「飛雲閣」をご覧になる方、門前のお店で買い物される方、龍谷ミュージアムに行かれる方など、大分ゆっくり出来ました。門前のお店も、

いつもにない賑わいに驚かされました。二時前には、決められた席に着きました。弘教寺の皆さんは、御影堂向かって左隅、龍虎殿脇の位置でした。3千人の方々が、参拝されたとあつてせり出しの席がたくさんあり、いつもの御影堂とは違う雰囲気でした。二時より総局代表の挨拶、その後ご法話があり、縁儀(※)の折には、すぐ脇の大太鼓が鳴り響き、法要のスケールの大きさを改めて感じました。お勤めは、昨年弘教寺の大遠忌法要でも勤めました「宗祖讃仰作法」です。多くの皆さんが練習していたので、親しみ易かったのではないかと思います。法要後に、ご門主様、新門様のお二方から

お言葉を頂けることも、大遠忌なればこそと感じさせて頂きました。

一年以上前から企画し、準備を進めてきた今回の大遠忌法要参拝でしたが、同行の皆さんから、50年に一度のご法要に参られたことの喜びや感謝の言葉を賜り、安堵しました。

この大遠忌法要を通じて感じましたことは、花火のように打ち上げて終わってはならないということ。政治的、経済的にも低迷する時代にあつて、念仏者としてどう歩むべきなのか。また、橋総長の挨拶文にある、「大震災の被災者の悲しみに寄り添い、思いを分かち合う」とはどういうことなのか。今度の法要のスローガン「世の中 安穩なれ」の宗祖のお言葉をどう具現化させていくのか。

私は、宗祖親鸞聖人が民衆の苦しみ、悲しみに同感し、ともに歩まれた姿を思い、今一度自らの学びを深めたいと思いました。きつとそこに、未来を切り開く大切なヒントを見い出すことができると確信します。

今回面倒臭いと思っていた事務手続きも、終わってみれば、法要を円滑に進める上では、必要であつたと感じさせていただきました。

ご本山スタッフのご苦勞に敬意を表します。「世の中 安穩なれ 仏法ひろまれ」と願われた聖人のお心を酌んで、これからの寺院活動を、門信徒の皆さんと共に、進めてまいりたいと思うことでした。

合掌

※縁儀はご門主様以下諸僧の方々が、外陣(げじん)正面より入堂する儀式

親鸞聖人750回大遠忌
法要参拝と古都奈良の旅

10月10日から3日間の「親鸞聖人750回大遠忌法要参拝と古都奈良の旅」に参加させていただきました。参加者は総勢68人でご住職の計らいにより行きは新幹線、帰りはバス2台となりました。この大遠忌法要は50年に一度の大法要で、宗祖の「世のなか安穩なれ」に込められた思いをスローガンとして、東日本大震災の「被災者の悲しみに寄り添う」ということをテーマでお勤めされております。

私達は10日午後の法要に参拝させていただきました。全国から3千人の方と一同での参拝でありました。私は西本願寺が初めてで、御影堂門から入るとすぐに、その豪壮さに圧倒され、しばし言葉がありませんでした。御影堂・唐門・飛雲閣等どれも立派な歴史的建造物であり、私なりに見聞を深め大変感動いたしました。



柴崎さん

私的なことですが今回の法要に参加させていただき、浄土真宗の雰囲気にとよつとだけふれさせてもらった感じがいたします。中央仏教学院の通信教育も現在2年に在学しておりますが、引き続き在学させていただきたいと思っております。この度の法要に出会えたことが、これからの人生を考える上で大切な機縁となりました。

旅の後半は、飛鳥・奈良時代にタイムスリップしたようでした。全部で六ヶ所の寺院を拝観させてもらいましたが、私の印象が強く残った寺院は「日本最古の寺院で大仏像のある飛鳥寺」、「薬師如来の両脇侍像のポーズが何とも言えない薬師寺」、「阿修羅像をはじめ国宝の多くある興福寺」、ライトアップされ、猿沢の池に映った一部松の木に隠れた五重塔の夜景も、未完の美の趣がありすばらしかった。今回は思い出に残る楽しい旅となりました。最後にこの機会を与えてくださったご住職、旅の準備をしてくださった皆さまに感謝申し上げます。(柴崎か)

10月10日からの3日間の旅に出発、初日は天気恵まれ、68人の皆様と親鸞聖人750回大遠忌法要に参拝させて頂きました。前日までの腰痛に耐えての参加。50年に一度の尊いご縁にどうしても参拝したい一心でした。腰痛も治り、み仏様のご加護のおかげと感謝しました。有り難い事です。



福永さん

京都市の新幹線の車中で坊守様に50年一度の大遠忌法要の「お荘厳(しようこん)」の説明をして頂きました。御影堂に入堂し、坊守様の説明を思い出し、想像以上の素晴らしい身を引き締め、「宗祖讚仰作法」をお勤めさせて頂きました。感動の内に法要も終わり、2台のバスで一路今夜の宿、湯の花

温泉へ向かいました。温泉に入り疲れを癒し、和やかな懇親会になり充実した一日でした。

2日目は京都から古都奈良へ移動し、日本最古の寺院で飛鳥大仏を参拝し、昼食は明日香村で頂き、次の橘寺へ。橘寺は聖徳太子様の誕生の地とのことです。境内の奥には、珍しい寺でした。最後に法隆寺へ。百済観音像、玉虫厨子、夢殿など特に心に焼き付いております。3日目は薬師寺へ。大唐西域壁画殿へ直行し、平山郁夫画伯が30年の歳月をかけて完成された壁画に感銘。次に唐招提寺へ。国宝の金堂、鑑真大和上の御廟を参拝して来ました。平城宮は車窓より拝見し興福寺へ。中学の修学旅行以来で記憶はうすれ、わずかに猿沢の池のみです。阿修羅像の記憶もなく初対面でした。凜とした美しい容姿に感動しました。

この3日間は天気にも恵まれ、帰路も車窓から善光寺平の美しい夜景と、どこまでもついでくる満月との出会い。思い出に残る楽しい旅でした。有難うございました。(福永き)

人生で二度の大遠忌法要に出会う



私は誰?

50年前、弘教寺での700回大遠忌法要稚児行列に参加された方です。今回は本山の法要にも参拝をされておられます。どなたか、おわかりですか?

仏教婦人会創立40周年記念式典

11月8日、来賓の群馬組組長はじめ弘教寺役員・壮年会役員のご臨席を仰ぎ、創立40周年記念式典を滞り無く終了させていただきました。

記念法話は艸香雄道先生のお話でした。親鸞聖人は「浄土にてかならずかならずまぢまいらせさくらふへし」のお言葉を残されました。

一日一日精いっぱい生かさせていただき、ご聴聞を重ね仏様のお心を聞かさせていただきましたと思います。

午後は記念コンサートです。ロス・アモーレスの内田六次さん率いる「ロクさんバンド」です。35周年記念コンサートで楽しい思い出を綴らせて頂き、忘れる事が出来ず40周年も又お世話になりました。南国のハワイアン音楽・懐かしいムード歌謡の生演奏とムードたっぷり甘い歌声に聞きほれていました。今回は内田六次さんのウクレレ教室の生徒さんも応援にかけつけ記念イベントにふさわしい華やかな舞台を飾って下さいました。アザレア・ユカレリの皆さんも大勢の方達の前で、日頃の練習の成果を発表出来ました事は、これからの活動に又々ファイトが沸いたと思います。

今、私共の婦人会ではいろいろなサークル活動を通じ和気あいあいとお寺に集い、なくてはならない場となっております。もちろん、み教えを聞かせて頂く大切な場でもあります。

今後ともご聴聞する事を大切に「み法の友の輪」を広げつつ、ボランティア活動・サークル活動を



焼香 代表 会長

弘教寺仏教婦人会会長 野水孝子

に励んで参りたいと思います。

40周年記念行事が無事に終了しました事を報告させて頂きますと共に、多勢の方達のお力添え、本当にありがとうございました。



仏教婦人会綱領



ロクさんバンドハワイアンコンサート

仏教婦人会の40年をふり返って

この度は、弘教寺仏教婦人会創立40周年を迎えられました、誠におめでとございます。ここに40年を顧みます時に、思い出されますのは、あの優しいご立派な、今は亡き前住職さまの面影でございます。昭和47年5月、前住職さまの許に、弘教寺仏教婦人会は設立されました。役員は会長に今は亡き宮崎せい先生、副会長に小林正子さま、貝塚千代さま、会計に長島せきさま、若年の坂井サクです。当時群馬県の10ヶ寺

で、婦人会を結成している寺は桐生の重恩寺さんに続き、弘教寺は二番目でした。

当初は、毎回前坊守さまの料理のご指導をいただき、毎月の例会のお参りを皆さん楽しみに、阿弥陀さまとのご縁をいただきました。発足以来順調に歩み続けて来た矢先、昭和57年7月前住職さまが突然ご往生されました。大黒柱を失い一時は会の存続も危ぶまれましたが、幸い現住職さまと、役員会を持ちまして、一同奮起致した次第です。現住職さまは、前住職さま同様に婦人会にご熱心にお力を入れて下さいました。私どもはとも有り難く、深い信頼と、期待の念を強く抱きました。

私自身の思い出に残る出来事としては。築地本願寺での教区仏婦総会における「命の尊厳」をテーマとする発表、藤岡の西蓮寺さまにての本願寺前門主さまご臨席のもと、群馬大会での仏婦実践発表でした。現住職さまのご助言をいただき無事大任を果させていただきましたことは、終生忘れることはございません。時代は移り変わり会員の層も若返り活発さを増して来た様に思います。いつも時代に即応した魅力ある仏婦活動に先頭に立って努めて下さる野水会長、また、それを支える坊守さまに感謝の念でいっぱい。今日40周年を迎え感無量でございます。今後は40年の歴史を礎とし、お念仏のみ教えの繁盛と、弘教寺の仏教婦人会のご活躍と、会員皆さまのご多幸を念じまして、お祝いの言葉と致します。

元仏教婦人会副会長 坂井サク

合掌

第31回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要参拝

例年9月18日に、すべての戦争犠牲者を追悼するために国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で営まれている法要に、今回は6人で参加させて頂きました。今年も、新門さまを筆頭に全国各地からの僧侶や門信徒を始め、小宮山洋子厚生労働大臣ら国会議員、各国大使等、総勢1200人が参拝し、厳粛に法要が修業されました。記念講演は、前広島市長の秋葉忠利氏が「身近な人の人生・生命という視点から過去の悲劇を二度と繰り返してはならないという願いを持ち続けるこ



とで核兵器のない平和な未来が実現する」と語り、続いて中学・高校生の代表者が命の尊さ、平和の大切さについて作文を朗読。大変有意義な、そして記憶に残る参拝となりました。

(貝塚しゅ)

第14回弘教寺ゴルフコンペ開催される

10月26日に伊香保ゴルフ倶楽部岡崎城コースで開催されました。今回はご住職の還暦記念大会でもあり、6組22人の大勢の皆さんが参加。爽やかな秋空の下、熱戦が繰り広げられました。栄えある優勝は、ネット69の好スコアで柳



伸二さんが初の獲得をされました。記念の祝宴は千明仁泉亭で婦人会員も参加し、和やかで盛大に開催されました。(須田ま)

住職のご法話

「明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものかわ」と詠って9歳で出家された「しんらんさまのごしようがい」のお話でした。「どろだんごと」「おでん」作り

雨の一日でも、テントの下は真剣などろだんご作りの熱気に包まれていました。昨年に続き2回目の子と初めての子が半々でしたが、皆腕を真つ黒にして、砂をつけてはどろだんごを磨きます。すると、余計な水分が抜けて表面がツツややかに光ってきます。多い子は、4〜5個も作ったようです。それぞれの个性的なでき具合にあわせて色を付けてもらえます。上出来のマリンブルーを付けてもらったのはお母さんも含めて5人。無邪気に無心に楽しんだ一時でした。自分で串に刺したおでんと煮しめた大根と卵、スタツフに握ってもらったおにぎり。空いたお腹がおいしく満たされました。(坊守)

親子で参加されたお母さんの感想

親子でどろだんご作りに挑戦しました。子供たちは目を輝かせ夢中でどろだんごを作っていました。何十年ぶりに作る私もすっかり童心に返っていました。その結果、何と家族3人も、最高のマリンブルー色を頂きました。子供たちは大喜びで、今も机の上に飾ってあります。とても楽しい思い出になりました。(泉 志穂)



次回は12月23日で凧揚げとお餅つき!

「どろだんご・第二弾」子供のつどい④ 10/22

◆ 行事予定 ◆ (平成23年 12月～平成24年 3月)

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
12月	3日	仏壮・仏婦合同報恩講・コンサート	3日	教区仏壮連盟理事会
	4日	弘教寺報恩講		
	11日	壮年会例会・忘年会	17日	第6期組連研(7)西福寺
	19日	婦人会例会(忘年会は9日)		
1月	23日	子どものつどい		
	1日	元旦会		
	20日	婦人会例会	9～16日	本山 御正忌報恩講:御正当
2月	22日	寺役員新年会		
	4日	子どものつどい		
	11日	壮年会例会	13日	組ビバー(若宮苑涅槃会)
3月	17日	婦人会例会	18～19日	教区仏壮結成記念日研修
			25日	第6期組連研(8)清照寺
			3日	教区仏壮連盟理事会
	26日	婦人会例会	17～23日	門信徒会運動研修協議会 春彼岸

※ 編集後記 ※

昨年からのお待ち受け法要を参拝して以来、強い念願でした本山・大遠忌法要の参拝が10月10日に実現。心の安堵と共に、命の大切さを改めて痛感させられました。ご門主様、新門様ともに、先の東日本大震災での被災者を思いやるお言葉がありました。自分の命が大切であることは、他人も同じ思いであり、他を思いやる人生に勤めてまいります。寺だよりも皆さんのお陰で20号に。委員一同継続を大切に思っております。(橋本ま)

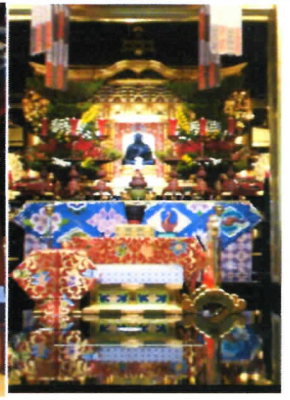
親鸞聖人750回大遠忌法要参拝



修復された御影堂全景



修復された御影堂内陣



お荘厳「九具足」飾り

「宗祖讃仰作法」に学ぶ

如来の作願をたづぬれば
 苦悩の有情をすてずして
 回向を首としたまひて
 大悲心をば成就せり

如来大悲の恩徳は
 身を粉にしても報ずべし
 師主知識の恩徳も
 ほねをくだきても謝すべし



大遠忌記念切手



大遠忌記念弁当

世のなか 安穩なれ

10月10日午後の参拝者 12教区 合計 3000人



国宝「飛雲閣」は特別拝観ができました



国宝「唐門」前での記念撮影です



国宝「白書院」は今も現役です

平成の大修復がされた御影堂を背景に参拝記念撮影



1号車・参拝の皆さん



2号車・参拝の皆さん



弘教寺を出発し京都到着
本山係員の案内で移動



御影堂門より境内に移動



阿弥陀堂前白州の記念撮影
場所に移動



御影堂入堂規定の手荷物で
記念撮影



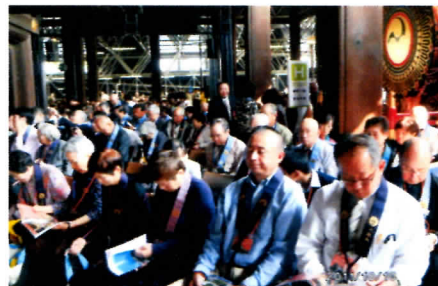
修復された御影堂内陣



外陣正面より入堂する僧侶の
方々(縁儀)



弘教寺の皆さんの参拝風景
(奥側は縁儀中に打つ大太鼓)



弘教寺の皆さんの参拝風景
(宗祖讃仰作法でのお勤め)



弘教寺の皆さんの参拝風景
(宗祖讃仰作法でのお勤め)



橘寺の拝観



法隆寺の拝観



薬師寺の拝観



猿沢の池に映る興福寺五重塔



唐招提寺の拝観



湯の花温泉溪山閣宴会風景